

医療法人財団五省会 西能病院



財団五省会 組織概要

西能病院、西能クリニック、西能みなみ病院、みどり苑の4施設を運営しており、各事業所間できめ細かく連携を取りながら地域に根ざした医療・介護・福祉サービスの提供に努めています。

五省会の理念・目標

信頼と奉仕

- 私たちは皆さまの健康と疾病の予防・治療のために適切な医療サービスを提供いたします。
- 私たちは皆さまのご希望を承り、それを基本に置いて説明と同意の下に思いやりの医療をすすめます。
- 私たちは医療の知識と技術の向上に努め、よりよい医療サービスを提供いたします。



各施設の紹介



西能病院

昭和37年開設

◆所在地◆ 富山市高田70番地

◆診療科◆ 整形外科、リハビリテーション科、内科、麻酔科、糖尿病内科

◆病床数97床◆ (2F地域包括ケア病棟47床、3F一般病棟50床)

◆入院基本料◆ 2F 地域包括ケア病棟13:1、3F 一般病棟10:1

◆年間手術件数◆ 約1,700件

◆平均在院日数◆ 約16日

整形外科センター 西能クリニック

平成24年開設

◆所在地◆ 富山市高田71番地1

◆診療科◆ 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科

◆診療時間◆ AM8:30～11:30、PM1:00～5:00(予約制)

(※休診日は元旦、春分の日、8月15日の年3回)

◆1日平均外来受診患者数◆ 約370人

西能みなみ病院

平成18年開設

◆診療科目◆ 整形外科、リハビリテーション科、内科、脳神経外科

2019年1月から脳活外来(もの忘れ外来)診療開始

◆病床数◆ 88床(2F 40床、3F 48床)

◆平均入院患者数◆ 84人

短時間通所リハビリテーション併設

介護老人保健施設 みどり苑

平成13年開設

◆サービス内容◆ 入所、ショートステイ、通所リハビリ、訪問リハビリ

◆定員数◆ 2F一般棟40名、3F認知症専門棟60名
在宅復帰強化型施設(在宅復帰率50%以上)

◆受賞◆

新人介護職員指導体制整備モデル施設(社協・富山県)

H28 がんばる介護事業所表彰(富山県)
「要介護度維持改善部門」

腰痛予防対策推進事業実施施設(次年度指定)

元気とやま！仕事と子育て両立支援企業表彰



西能病院 看護部の理念・目標

豊かな人間性と優れた知識・技術を持って

地域に根ざした信頼される質の高い看護を提供いたします。

1. 思いやりと品位のある看護を提供できる

言動に注意し、TPOを考慮した行動ができる
倫理的感性を身に付けて行動できる

2. 日常業務を常に見直し、効率的な改善策を提案、実施できる

日々、ステップアップすることで自ら考えて行動できる
自分の行動に責任を持ち、組織全体の活性化をめざす

3. 専門職としての知識・技術を常に向上できる

積極的に、専門職としての知識・技術を身に付ける努力をする
目標を達成できるように常に自己研鑽に努める

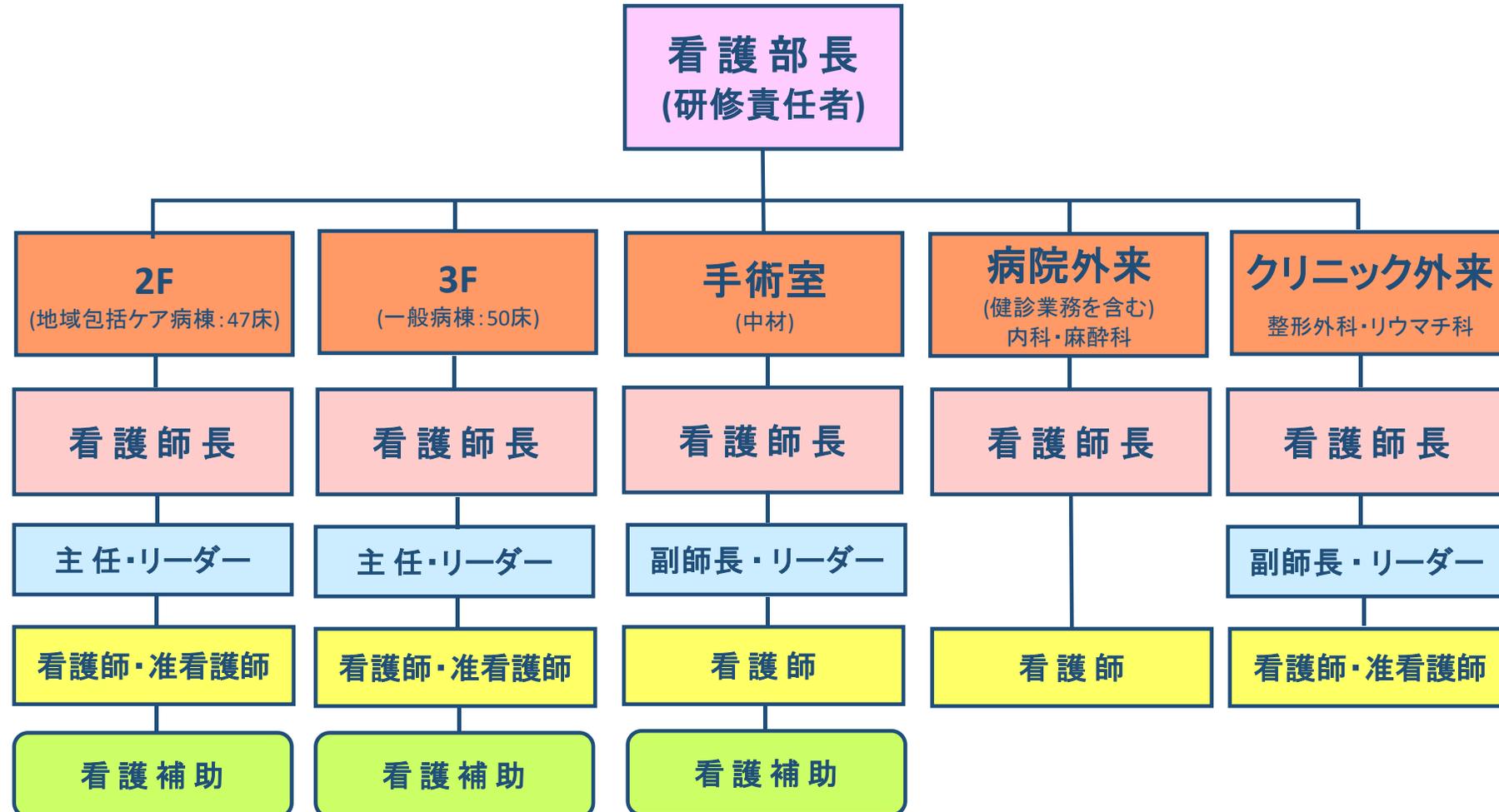
4. 他部門と協働し患者さんを中心とするチーム医療を提供する



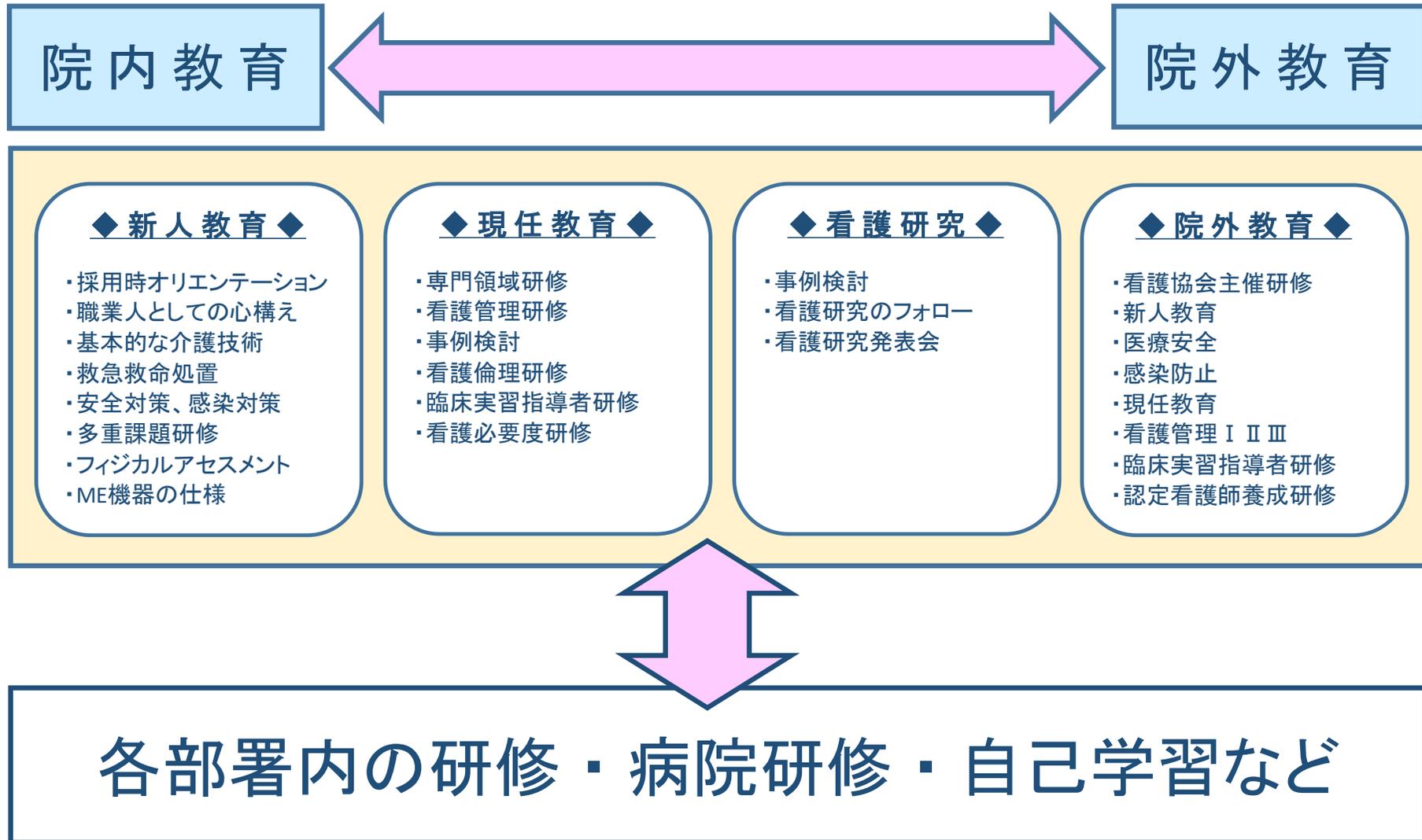
西能病院・クリニック 看護部の概要

- ◆看護職員数◆ 85名(看護師77名、看護補助9名)
- ◆看護単位◆ 4単位
病棟(2F:地域包括ケア病棟、3F:一般病棟)、内科外来、手術室
- ◆病棟勤務体制◆ 2F:3交代2名
3F:2交代1名、3交代2名
- ◆病棟看護体制◆ 2F(地域包括ケア病棟) 13対1
3F(一般病棟) 10対1
- ◆看護提供方式◆ 固定チームナーシング

西能病院・クリニック 看護部組織図



職員教育・研修について

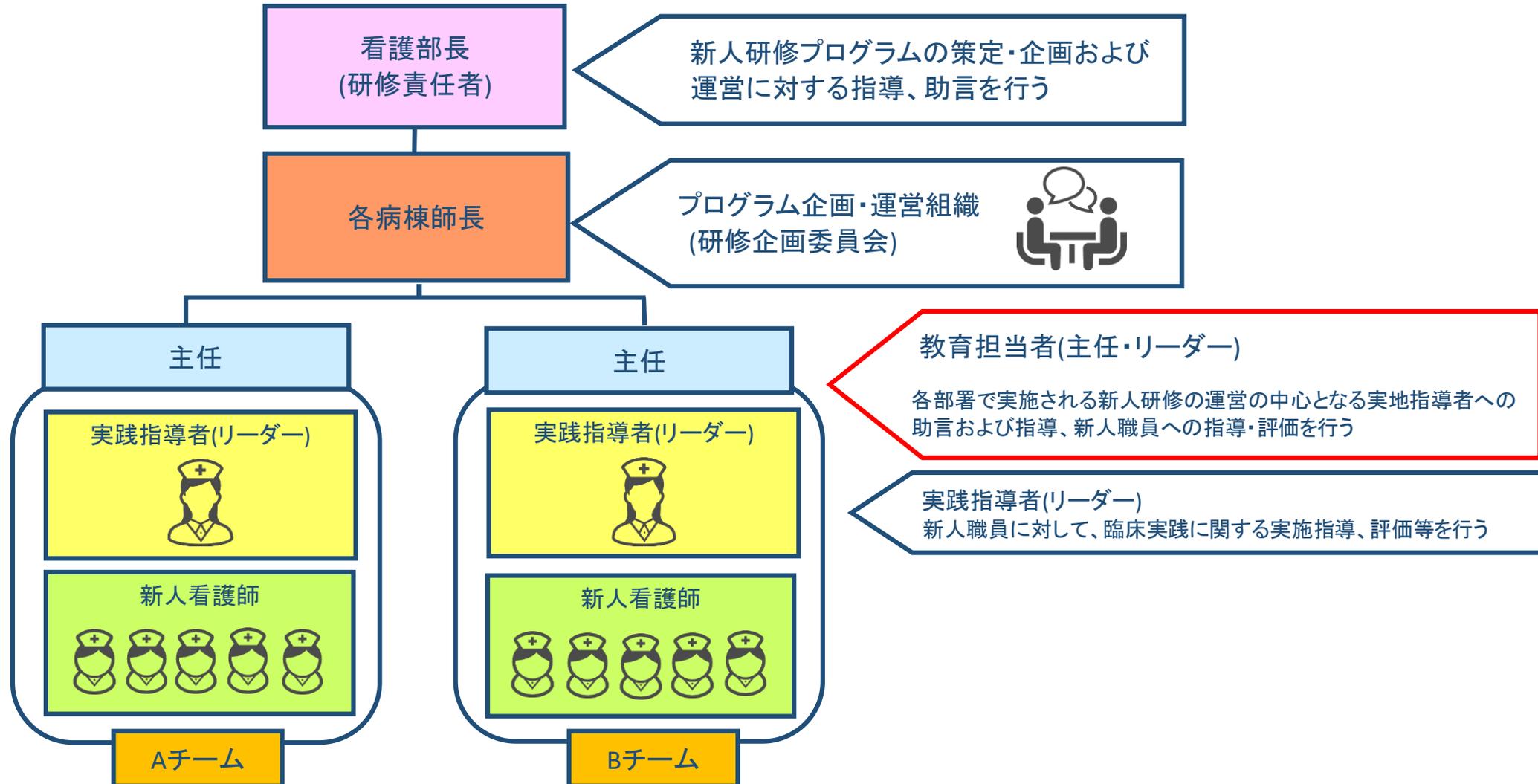


教育委員が各部署で新人研修の運営、プリセプターへの助言および指導、新人看護師への指導評価を行っています。

※プリセプター……

卒後3～5年以上の看護師が新人1人に対し1年間、看護技術の指導やメンタルサポートを行う制度

看護部 新人研修運営体制



新人看護職員への教育体制

- 平成22年度より新人看護職員教育体制(新人看護師支援システム)を整備、看護部長が策定した五省会新人教育プログラムや研修プログラムをもとにした新人研修や勉強会を定期的に行っている。
- 病棟以外にも内科外来やクリニック、手術室での短期研修、みなみ病院やみどり苑といった五省会の事業所間でのローテーション研修を実施しながら新人職員の能力や適性を確実に把握、面接にて希望部署を確認した後に各部署への配属決定を行う。
- また、入職3年～5年の職員が新人看護職員に1対1で指導評価、メンタル面のサポートをする「プリセプター制度」や新人職員は1年間の夜勤免除など、部署全体で新人職員を支援する教育体制の整備を進めている。

五省会 新人看護職員教育プログラム

4月 職場に慣れる



- ・医療安全研修
- ・感染防止対策
- ・事故防止策、発生時の対応
- ・記録研修

7月 看護実践能力の育成



- ・心電図ABC
- ・緊急蘇生、救急物品、緊急時の対応
- ・薬の扱い方
- ・感染対策研修

10月 看護実践



- ・看護過程による看護提供

1月 看護実践



- ・高齢者看護に向けて認知症看護研修
- ・看護過程による看護の実践

5月 日常業務への適応



- ・AED研修
- ・褥瘡防止対策
- ・看護倫理研修
- ・看護技術演習

8月 看護実践能力の育成



- ・輸血の取り扱い
- ・急変時の対応
- ・看護必要度研修

11月 看護実践



- ・**多重課題研修**
- ・医療安全研修
(他職種・KYTワークショップ)

2月 看護・介護の連携の理解/ 高齢者看護(みどり苑・みなみ病院)



- ・慢性期看護の理解
- ・認知症専門棟でのケアと看護

6月 夜勤業務への準備



- ・輸液ポンプの取り扱い
- ・放射線の特徴と被爆の防止
- ・看護必要度研修

3ヶ月振り返り

9月 役割の理解



- ・接遇研修
- ・包帯法、装具について

半年振り返り

12月 看護実践



- ・ケア技術の習得
- ・ローテーション研修に向けて
- ・研究発表会に参加

3月 看護実践



- ・新人職員チェックリストの評価、課題
- ・プレ研究発表会に参加

1年の振り返り

新人看護職員研修計画 ローテーション研修

	4月～12月	1月～2月	
	<p>西能病院で急性期病棟の看護基礎、周術期看護について学びます。</p> <p>(内科外来、クリニック外来、手術室で短期研修の実施)</p>	<p>4月～12月までの西能病院の研修で学んだ知識を活用し、現在の医療が直面している高齢化問題について自分の看護観と照らし合わせながら考えを深めるための期間です。</p> <p>西能みなみ病院(医療療養型)、みどり苑(介護老人保健施設)でそれぞれ1週間、高齢者看護や疾患別看護などの研修に臨みます。</p>	
西能病院・クリニック			
西能みなみ病院			
みどり苑			

配属先はローテーション研修の終了後、面接にて希望部署の確認や上席者が本人の適性を判断して決定します。

西能病院研修プログラム(平成30年度)

月		4月				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
		入職1ヶ月				入職2ヶ月	入職3ヶ月	入職4ヶ月	入職5ヶ月	入職6ヶ月	入職7ヶ月	入職8ヶ月			
就職後の時間経過		1週	2週	3週	4週										
成長目標		◆1ヶ月の目標◆				◆3ヶ月の目標◆		◆6ヶ月の目標◆			◆7ヶ月～1年の目標◆				
		1. 配属部署の雰囲気慣れる 2. 同僚の名前を覚える				1. できること、できないことが分かる 2. サポートを受けながら、計画に基づいた担当患者のケアができる		1. 担当患者の問題点や優先順位を考えながらケアができる			1. マニュアルに基づいて、あるいは部分的に指導を受けながら担当患者の看護を実践				
ステップ1	総合オリエンテーション														
ステップ2	所属概要、教育計画等のオリエンテーション 院内研修(外来、手術室、病棟)														
ステップ3	〈日勤の業務〉 数名の患者を担当し、プリセプターと共にケアを行う														
ステップ4	〈日勤の業務〉 数名の患者を担当し、プリセプター等のサポートを受けながらケアを行う 組織、チームの一員としての役割と責任を自覚できる 電子カルテ操作手順を理解し、記録できる														
ステップ5	〈日勤の業務〉 チームリーダーの指示に従い、必要時にサポートを受けつつ1人で数名の患者のケアを実施できる 個々の患者に合わせた対応ができる														
ステップ6	〈日勤の業務〉 最初の3回程度はプリセプターの指導を受け、以降は必要時のサポートのみでチームリーダーの指示に従って担当患者のケアを実施できる 指導のもと、指示受けや伝達(申し送り)ができる														
ステップ7	〈選番・与薬などの機能別看護業務〉 日勤業務の習得状況に合わせ、選番業務を行う。最初の数回はプリセプターと行う 休日業務を理解し実施できる														
ステップ8	月1回程度の夜間勤務を行い、夜間の患者の状況や看護活動を見学する														
ステップ9	〈夜勤メンバーの業務〉 最初の3回程度、プリセプターとともに夜間のケアを行う														
ステップ10	〈夜勤メンバーの業務〉 リーダー・看護師の指導、サポートを受けながら夜勤メンバーとしてケアを行う														
ステップ11	〈業務から看護へ〉 先輩の助言を受けながら未経験の看護業務を実践し、知識・技術の幅を広げる。個々のニーズに応じた看護を意図的に実践する														
〈各所属における研修プログラム〉 各所属ではプリセプター、各委員、看護主任等が分担。役割拡大に合わせ、必要な勉強会を企画・実施する		<ul style="list-style-type: none"> ●チェックリストを用いて、未経験の看護手順やケア技術の習得を求める ●看護記録・医療安全・感染委員などによる具体的な院内ルールについて指導を受ける ●所属での必須知識・技術について勉強会 													
〈新卒新人研修プログラム(外部含む)〉 院内委員会、専門チーム、医師をはじめとする、他部門の関係者による研修を企画・実施する ○研修振り返り フォローアップ		●総合研修 ○電子カルテの入力について ○医療安全 ○看護倫理 ○感染防止		○研修振り返り			●心電図ABC ●救急蘇生術 ○放射線の特性と被爆の防止 ●輸液ポンプの操作 ●看護倫理について		●職業人としての自己育成 ○装具の種類と装着法 ○フィジカルアセスメントの技術 ●輸血・麻薬の取り扱い ○"失敗学" 失敗から学ぶ視点			○看護必要度 ○牽引の組み立て方		●心電図ABC ●救急蘇生術 ○フィジカルアセスメントの技術	
									○研修振り返り評価						

五省会の強み

～スタッフを大事に育てる職場環境づくり～

- 新人職員への教育支援、研修プログラムの充実
- 20代～30代の若手職員が全体の6割を占め、
新人職員が業務に関する疑問などを気軽に相談しやすい
- 子育て世代の職員が働きやすいよう、保育料補助手当の支給や夜勤の免除といったワークライフバランスに考慮した勤務体系の提供
- 有給とは別に年1回、5日間(土・日を挟む休暇3日)のリフレッシュ休暇制度(取得率100%)、平成26年からは記念日休暇(年1回、任意の日付)制度の運用
- 5年ごとに永年勤続表彰があり、対象職員には勤続年数に応じて2万円～15万円分の旅行券が副賞として贈呈される

私たちは地域に密着した
チーム医療を実践し、
質の高いケアを目指しています。

仲間と一緒に働きましょう！

